

シリーズ企画

オリンピックと屋内全面禁煙法・条例(その36) ・受動喫煙防止対策強化に署名264万筆 ・あなたとそばにいる人のため、禁煙は愛

北九州市医師会広報委員会委員
産業医科大学産業生態科学研究所 大和 浩
健康開発科学研究室 教授

①日本医師会の署名活動

タバコ産業が集めた「分煙を容認せよ」という110万筆の署名に対抗するべく、日本医師会をはじめ四師会による「受動喫煙防止対策を強化・実現するための署名」が行われていました。本医師会の各会員にも署名の協力要請が行われておりましたし（本誌8月号31ページ理事会報告）、産業医科大学でも病院長から各部署・講座に協力要請が行われました。もちろん、私も自分が所属する研究室・研究所、親族・縁者、嘱託産業医をしている企業からいただいた署名を医師会に送りました。特に、博多の嘱託産業医先の某社からは424人も協力していただきました。

8月10日、264万3023筆もの署名を加藤勝信厚生労働大臣に要望書とともに提出されたことが日本医師会のホームページで紹介されています。

大臣が交代すると首相から指示書が出されます。安倍晋三首相から加藤大臣に出された指示書には「受動喫煙

防止対策の強化」が入っているとのこと。塩崎恭久前厚生労働大臣のように「国民の健康を守る」という断固たる姿勢を加藤大臣にも期待しています。また、そのことをすべての医療関係者が継続して訴えていかねばならないと思います。

受動喫煙防止対策を強化・実現するための署名活動終了のご報告と御礼

2017.8.29

受動喫煙防止対策を強化・実現するための署名活動にご協力いただきありがとうございます。
このたび日本全国より264万3千023筆(8月8日現在)のご署名をいただきました。
本署名の成果につきましては、8月10日に要望書とともに加藤厚生労働大臣宛に提出しました。更に内閣総理大臣、自由民主党等へ同要望書を提出する予定です。
日本医師会では引き続き、例外規定のない受動喫煙防止対策の強化・実現に向けて国に働きかけてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

▶ [御礼ポスター](#) (1.1MB) NEW

▶ [要望書](#) (99KB)



四師会代表から加藤大臣に手渡された要望書(日本医師会ホームページより)

四師会から加藤大臣に提出された要望書

厚生労働大臣
加藤 勝 信 殿

例外規定のない受動喫煙防止対策の強化・実現について(要望)

たばこは肺がんに限らず、脳卒中や虚血性心疾患などの循環器疾患や慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患及び生活習慣病の糖尿病、更には歯周病など多くの疾患の要因であることは科学的に証明され、喫煙が原因とされる死亡者数は年間約13万人と推計されています。

また、たばこは喫煙者本人のみでなく受動喫煙というかたちで非喫煙者の健康にも害を及ぼし、受動喫煙に晒されなければ、年間1万5千人が、がん等で亡くならず済んだと推計されています。

このような状況を踏まえると、屋内における喫煙は単なるマナーや嗜好の問題ではなく、全国民の健康被害の問題であり、加えて社会保障費の増大等、財政に深刻な影響を及ぼすものがあります。

わが国は平成16年に「たばこの規制に関する世界保健機関枠組み条約」に署名し、平成17年に発効されました。この条約の第8条では、たばこの煙にさらされることから全ての人が保護されるべきであると示されています。

しかし、わが国の受動喫煙防止対策は「世界最低レベル」と世界保健機関(WHO)からも指摘をされており、政府の取り組みを後押しするためにも、屋内100%全面禁煙をはじめとし

て、抜本的な対策に取り組む姿勢を世界に示す必要があります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、たばこのないオリンピックを開催することはもちろんのこと、日本全体で例外規定や特例を設けることなく、国際水準の受動喫煙防止法の制定が不可欠であります。

われわれ四師会は、「国民の健康を守る専門家集団」として、国民の健康を第一に考え、例外規定や特例を設けることのない受動喫煙の防止対策の強化・実現を求める署名活動を全国的に展開してまいりました。

その結果、多くの方々のご理解とご協力をいただき264万3千023筆もの署名を集めることができました。

政府におかれましては、望まない受動喫煙をなくすため、受動喫煙防止対策を強化する法律案の次期国会での成立を早急に実現していただきますよう、強く要望いたします。

平成29年8月10日

日本医師会会長 横倉 義武
日本歯科医師会会長 堀 寛 郎
日本薬剤師会会長 山本 信夫
日本看護協会会長 福井トシ子

②日本医師会の小冊子「あなたのため、そばにいる人のため、禁煙は愛」を活用しよう

日本医師会のホームページ、署名のお礼の下から16ページの小冊子がダウンロードできるようになっています。目次を以下に紹介します。

- ・日本はたばこ対策の発展途上国?
- ・たばこを吸うと寿命が8～10年短くなる?
- ・誰かのたばこの煙を吸うだけで喫煙者と同様のリスクがあります
- ・受動喫煙をなくすためには、100%禁煙だけが唯一の対策
- ・やめたくてもやめられない喫煙は「ニコチン依存症」という病気です
- ・医療機関でなら比較的楽に、より確実に禁煙できます
- ・薬とカウンセリングの両輪で禁煙を成功させます

特に、このシリーズ企画に関わりのある受動喫煙防止対策については、分かりやすいイラストで



署名のお礼ポスター(日本医師会ホームページより)

